NPO法人 熊本まちなみトラスト 第50回理事会（2021-04-26）

	氏名	理事会		委任
	出欠予定	210426	出席	出席
		出欠	人数	人数
1	青木勝士	○		
2	麻生田栄壽	○		
3	伊藤重剛	○		
4	磯田桂史	○		
5	磯田節子	○		
6	岡裕二	×理事長		1
7	工藤栄一郎	×理事長		2
8	幸田亮一	×事務局長		3
9	古賀輝	×理事長		4
10	西郷正浩	×理事長		5
11	柴田祐	×理事長		6
12	竹田宏司	○		
13	田中尚人	×事務局長		7
14	鄭　一止(いるじ)	○		
15	辻　泰明			
16	豊永信博	○		
17	長野聖二			
18	西島真理子			
19	冨士川一裕	○		
20	松波大仁	○		
21	三國隆昌	×理事長		8
22	宮野桂輔	×理事長		9
23	矢野和之	×理事長		10
24	山田穣	○		
1	荒木幸介			
2	齊藤修			

理事　　11

（＋委任状出席10＝20＜理事総数24×1/2

◆議案事項

5/22年次総会の議案書

1 2020年度事業報告　P1
2 2020年度決算報告　P4
3 2021年度活動方針案　P7
4 2021年度予算案　P8
5 定款の変更案（ファンクラブの発会に伴う）P10
◇ 総会イベントの企画案　P11

◆報告事項（前回理事会2/22からの出来事）

報告1. 日本財団、J－Coin基金からの助成期間の特例的延長
（コロナ禍のため）

報告2. 3/5@カリーノビル、3/7@PSオランジュリ　助成イベント

報告3. 県民文化賞授賞式3/22　→磯田節子理事文化財功労者表彰も
合わせて同日3月例会で報告会＆磯田節子理事によるミニ講演@文林堂

報告4. <仮称>地域遺産ファンクラブ準備会　2/26＝第4回～4/14＝第7回
@文林堂地下ホール

報告5. 熊本地震から5年　イベント
3/16　ZOOMできるしこ会議　田中尚人理事・柴田祐理事
・・・熊本地震からの5年を振り返りこれからの5年を考える
日本都市計画家協会全まち2020-2021　東日本から10年
熊本分科会ZOOM配信　5月29日（土）予定

報告6. 吉田松花堂実測調査、京町旧弁護士事務所（佐々木邸）実測調査

報告7. ICOMOS前会長河野九大教授との共同研究会
4/10@熊本市庁舎11階会議室

報告8. 事務局運営に関する検討　熊日社長3/31、熊日びぷれす会館Bスタ4/2訪問

1. 2020 年度事業報告

(1)活動概要

ＮＰＯ法人熊本まちなみトラスト（ＫＭＴ）は、平成 28 年熊本地震から 1 年後の 2017 年５月に同名の任意団体から NPO 法人化し、2020 年度は第 4 期の事業年度となった。

年度当初４月から新型コロナウイルス感染防止緊急事態宣言が熊本でも発せられ（第１波）、５月に予定した年次総会は書面表決にせざるを得なくなった。法人格を持つ団体は少人数でもリアルの総会を開催したうえで書面による表決を確認し議事録を作成、それを会員に通知することが義務づけられていることがわかり、５月 25 日にパレア第９会議室で理事 15 人の出席のもとに総会を開催した。その時点での KMT 活動への基本的な認識は『法人設立の主な目的を達成した時点で活動を縮小するか、現状維持・発展を目指すかの選択にあったが、後者すなわち熊本におけるＮＰＯ法人としての役割りを強め持続可能性を高めることにした』という総会提案書によく表れている。

そのような基本路線のもとで財政交流部会は財政基盤を強くするために法人会員増加のために活動し、歴史まちづくり部会は同年６月に国の認定を受けた『くまもと歴史まちづくり計画』推進の応援活動の一つとして 10 月 10 日に『歴史まちづくりフォーラム』を開催した。遺産ネット部会は、文化遺産所有者と応援団が集う『地域遺産ファンクラブ』の準備を進め、この度の５月の年次総会と相前後して発足の予定である。これと関連して、KMT が事務局として活動を支えてきた被災文化遺産所有者等連絡協議会の解散総会を 2021 年 3 月に書面表決で開催し、同協議会は解散した。

そのように３つの部会活動が始動し活発に続けられたことは 2020 年度活動の第１の特筆すべき点である。

第２に特筆すべき点は、2020 年 7 月 4 日未明に人吉球磨地域で発生した豪雨災害からの復旧復興への対応である。磯田節子理事は登録文化財登録（2013 年）の縁があり被災直後から人吉旅館と芳野旅館の支援に動いた。WMF（ワールド・モニュメント財団）からもすぐに CRF（Crisis Response Fund）という新しい制度の適用を申し出ていただき KMT からの支援に当てることができた。日本財団からも緊急支援を受けることができ、芳野旅館の復旧支援、人吉市長への要望書の提出、球磨村焼酎蔵の復旧支援活動に役立てることができた。また、災害調査と泥出しボランティア・チームを編成し２度に亘り派遣した。

2020 年度における活動の特筆すべき第３の点として、ウィズ・コロナという社会課題への対応アクションがあげられる。2019 年に復活した２つの近代化遺産、すなわち震災からの復旧工事で甦った PS オランジュリと㈱カリーノという新しい担い手を得た旧住友銀行熊本支店社屋という 2 つの近代化遺産をコロナ禍で公演の機会を奪われている団体の発表の場とするマッチング事業を行った。子どものための演劇やコンサートの公演に長年たずさわっている団体とタイアップすることで子どもたちに歴史的建造物と接する機会をつくることができた。これには J-Coin 基金に応募し採択されることで得た資金を投入することができた。同基金は前述の『地域遺産ファンクラブ』発足会の開催費用にも充当される。

2019 年度における熊本まちなみトラスト（KMT）の「日本イコモス賞」授賞、冨士川事務局長の「荒木精之賞」授賞に引き続き 2020 年度も 11 月に磯田節子理事の「県文化財功労者」表彰、2021 年３月に熊本まちなみトラスト（KMT）の「県民文化賞」授賞となった。

（２）2020年度活動年表

イベント名	月日	場所	備考（テーマ等）
佐々木邸（未指定文化財）調査	4月24日	中央区京町１丁目	磯田桂史理事、節子理事、冨士川理事参加（他に山川氏、松下氏／ヘリテージM）
第40回理事会（総会直前理事会）	5月2日	KMT事務所	総会議案書の承認 コロナ禍における書面表決
広報誌第2号の発行	5月1日	会員に郵送	
理事立候補の公示（一連の手続き開始）	4月20日	メールと郵送	書面表決総会 4/20～6/3
年次総会2020（理事＋表決書面による議決）	5月25日	ぱれあ第9会議室	
第41回理事会			
正副理事長会議	5月30日	KMT事務所	
総会（書面表決）結果報告	6月3日	郵送（はがき）	
財政部会	6月1日	パレアルーム	カリーノ法人会員決定報告
歴まち部会	6月8日	ぱれあ第9会議室	総会振り返りと3部会推進の方策
遺産ネット部会	6月11日	パレアルーム	初会合　三國記録
第42回理事会／例会	6月22日	ぱれあ第9会議室	市・都市デザイン室も参加
★令和2年7月豪雨で大災害	7月4日	人吉球磨地域	2つの登録文化財（人吉旅館・芳野旅館）に磯田節子理事急行
歴まち部会	7月6日	熊本市役所本庁11階会議室	市・都市デザイン室も参加 歴まちシンポジウムの提案
遺産ネット部会	7月7日	パレアルーム	「ファンクラブ」という発想
財政部会商工会議所訪問	7月9日	熊本商工会議所	法人会員勧誘の世話役依頼
人吉被災状況調査＋ボランティア泥出し	7月19日	堤邸＋人吉市中心市街地	土砂かき出しに理事他12人
第43回理事会／例会	7月27日	ぱれあ第9会議室	会費収入の落込み懸念 部会報告／人吉タスクフォース
歴まち部会	8月3日	パレアルーム	歴まちフォーラムの企画検討
遺産ネット部会	8月4日	パレアルーム	新組織の名称、運営方法／ 被連協の解散総会（書面表決）
財政部会	8月12日	パレアルーム	商工ひのくにの記事掲載 法人会員の勧誘
歴まち部会	8月19日	パレアルーム	歴まちフォーラムの企画決定
肥薩線の復旧検討集会	8月22日	ぱれあ第7会議室	幸田理事、田中理事参加
第44回理事会／例会	8月24日	ぱれあ第9会議室	会計厳しい／部会方向 人吉とのかかわり→市長要望
遺産ネット部会	9月1日	パレアルーム	新組織の発会手順、規約の検討
人吉市長に要望書手渡す	9月4日	人吉市市長室	賛同する地元団体と
ICOMOS河野前会長との共同研究スタート	9月9日	PSオランジュリ	「災害と文化遺産の保存」 伊藤、冨士川対応
財政部会	9月10日	パレアルーム	企業回りスケジュールと分担
遺産ネット部会	9月15日	パレアルーム	ファンクラブ規約の検討
伊藤理事長新聞寄稿	9月16日	熊本日日新聞	歴まち部会のシナリオの一環
人吉泥出し・清掃ボランティア	9月20日	人吉市・人吉旅館	土砂かき出しに理事他9人
人吉支援への助成金採択	9月9日／24日	WMF(CRF)、日本財団	歴まち計画に寄せて 10・10シンポジウムのお知らせも
歴まち部会	9月25日	パレアルーム	10/10歴まちシンポジウム企画
第45回理事会／例会	9月28日	ぱれあ第9会議室	各部会報告と議決等
歴まちシンポジウム	10月10日	カリーノビル（旧住友銀行支店社屋）	

財政部会（10月に5社企業回り）	10月13日	パレアルーム	商工ひのくにゲラ刷り確認 法人会員勧誘リスト
遺産ネット部会	10月16日	パレアルーム	ファンクラブ設立総会の検討
吉田松花堂調査会スタート	10月23日	伊東龍一先生を座長にKMTからは磯田両理事、宮野理事、古賀理事、冨士川理事が参加（他には入江氏、山川氏）	
第46回理事会／例会	10月26日	パレア9階 第2会議室	各部会報告と議決等 ※熊本市への指名願
J-Coin基金助成金採択	10月26日	採択通知	コロナ禍対策対応事業
広報誌第3号の発行	11月1日	会員に郵送	
歴まち部会	11月4日	パレアルーム	熊本市歴まち事業プロポーザル対応（応募）検討※
遺産ネット部会	11月5日	パレアルーム	ファンクラブ設立に向けた工程表
渕田酒造本店焼酎蔵実測調査→支援継続	11月8日	球磨村一勝地（豪雨災害被災地）	磯田節子理事、西郷理事、冨士川事務局長WGに入る
熊本市歴まち事業プロポーザル参加表明	11月12日	※→11月26日辞退届け	「城下町地区歴史的建造物等利活用促進支援業務委託」公募型プロポーザル
熊本市競争入札等参加資格審査結果	11月24日	資格ありの通知（2023年3月31日まで有効）	
第47回理事会	11月24日	パレア9階 第9会議室	熊本市プロポーザル辞退決定 KMT掲載の「商工ひのくに」 等
遺産ネット部会	11月25日	パレアルーム	ファンクラブ設立準備会の検討
磯田節子理事　県文化財功労者表彰	11月26日	熊本県庁	祝賀会（記念講演）は3月22日
遺産ネット部会	12月6日	KMT事務所	熊本ビル部西本さんとの交流
遺産ネット部会	12月8日	パレアルーム	ファンクラブ設立準備会の検討
第48回理事会	12月21日	パレア9階 第2会議室	次回（来年）から理事会と例会を分離して開催することを決定
ファンクラブ準備会（遺産ネット部会）	12月22日	パレア9階第2会議室	第１回準備会 トラスト外メンバー参加 熊本大学法学部3年生も参加
ファンクラブ準備会（遺産ネット部会）	12月27日	パレア9階第９会議室	ファンクラブの名称（WS）／チラシの検討／まち歩きの企画等
2021（令和3）年			
ファンクラブ準備会（遺産ネット部会）	1月19日	文林堂地下ホール	ファンクラブ発会式と被連協解散総会をリモートや書面表決で検討
第1回（新）例会　コロナ禍で延期	1月25日	（文林堂地下ホール）	田代順七画伯街の絵謎解きの企画
ファンクラブ準備会（遺産ネット部会）	1月26日	文林堂地下ホール	ファンクラブ発会式延期決定
ファンクラブ準備会（遺産ネット部会）	2月16日	文林堂地下ホール	ファンクラブ会員のターゲットとファンクラブのコンセプト
第49回理事会	2月22日	パレア9階第2会議室	次年度予算及び活動方針等
被連協解散総会案内（書面表決書）発送	3月3日	→3月28日「解散決定」のお知らせ発送	
J－Coin事業　人形劇団ののはな公演	3月5日	カリーノMSビル（旧三井住友銀行熊本支店）	熊本県子ども劇場連絡会の協力
J－Coin事業　弦楽コンサート	3月7日	PSオランジュリ	熊本県子ども劇場連絡会の協力
ファンクラブ準備会（遺産ネット部会）	3月20日	稲田春逕氏「町ぶら書道展」に参加し、まち歩きを考える	
県民文化賞授賞式	3月22日	知事室	伊藤理事長、冨士川事務局長出席
第１回新例会	3月22日	文林堂地下ホール	磯田理事授賞記念講演、KMT授賞祝
ICOMOS河野前会長との共同研究	4月10日	熊本市庁舎11階会議室	熊本市景観担当、文化財担当も参加
ファンクラブ準備会（遺産ネット部会）	4月14日	文林堂地下ホール	5/23（日）を目標にしたファンクラブ発会式の検討
第50回理事会（予定）	4月26日	パレア9階第９会議室	総会議案書の承認

法人名： NPO法人 熊本まちなみトラスト

令和2年度 活動計算書

令和2 年 4 月 1 日 ～ 令和3 年 3 月 31 日 まで

（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ 経常収益			
1. 受取会費			
個人正会員受取会費	180,000		
個人賛助会員受取会費	36,000		
法人正会員受取会費	240,000	456,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	290,000	290,000	
3. 受取助成金等			
お金をまわそう基金	99,800		
WMF1（熊本地震復旧工事費）	2,023,690		
WMF2（人吉豪雨災害緊急支援）	1,043,780		
日本財団（人吉豪雨支援助成）	1,000,000		
J-Coin財団（コロナ対応支援助成）	1,815,000	5,982,270	
4. 事業収益			
ICOMOSからの調査委託	528,000	528,000	
5. その他収益			
受取利息	13		
会場費の払い戻し（会議の中止に伴う）	6,380	6,393	
経常収益計			7,262,663
Ⅱ 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(2)その他経費			
会場費	59,400		
印刷製本費	161,960		
諸謝金	90,000		
旅費交通費	184,240		
消耗品費	105,840		
通信運搬費	9,223		
支払手数料	6,490		
外注費	2,777,902		
修復支援金(WMF)	2,023,690		
保険料	9,861		
未払い金	0 ※		※
その他経費計	5,428,606		日本財団
事業費計		5,428,606	638,000
2. 管理費			J－Coin
(1)人件費			325,000
給料手当	366,000		
役員報酬	0		
法定福利費	0		
人件費計	366,000		
(2)その他経費			
会場費	50,050		
印刷製本費	657		
外注費	82,500		
旅費交通費	30,165		
消耗品費	1,467		
水光熱費、通信費、コピー印刷費	0		未払い金
通信運搬費	40,043		
租税公課	1,650		
支払手数料	8,207		
会議費	2,940		
雑費	370		
その他の経費計	218,049		
管理費計		584,049	
経常費用計			6,012,655
当期正味財産増減額			1,250,008
前期繰越正味財産額			681,281
次期繰越正味財産額			1,931,289

←3/31現在
1,931,289
★ピッタリ！

法人名： NPO法人 熊本まちなみトラスト

令和2年度 活動計算書

令和2 年　4 月　1 日 ～ 令和3 年　3 月　31 日 まで

（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ 経常収益			
1. 受取会費			
個人正会員受取会費	180,000		
個人賛助会員受取会費	36,000		
法人正会員受取会費	120,000	336,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	280,000	280,000	
3. 受取助成金等			
お金をまわそう基金	99,800		
WMF1（熊本地震復旧工事費）	2,023,690		
WMF2（人吉豪雨災害緊急支援）	1,043,780		
日本財団（人吉豪雨支援助成）	1,000,000		
J-Coin財団（コロナ対応支援助成）	1,815,000	5,982,270	
4. 事業収益			
ICOMOSからの調査委託	528,000	528,000	
5. その他収益			
受取利息	13		
会場費の払い戻し（会議の中止に伴う）	6,380	6,393	
経常収益計			7,132,663
Ⅱ 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(2)その他経費			
会場費	59,400		
印刷製本費	161,960		
諸謝金	90,000		
旅費交通費	184,240		
消耗品費	105,840		
通信運搬費	9,223		
支払手数料	6,490		
外注費	2,777,902		
修復支援金(WMF)	2,023,690		
保険料	9,861		
未払い金	963,000 ※		※
その他経費計	6,391,606		日本財団
事業費計		6,391,606	638,000
2. 管理費			J－Coin
(1)人件費			325,000
給料手当	366,000		
役員報酬	0		
法定福利費	0		
人件費計	366,000		
(2)その他経費			
会場費	50,050		
印刷製本費	657		
外注費	82,500		
旅費交通費	30,165		
消耗品費	1,467		
水光熱費、通信費、コピー印刷費	152,846		未払い金（年度末調整）
通信運搬費	40,043		
租税公課	1,650		
支払手数料	8,207		
会議費	2,940		
雑費	370		
その他の経費計	370,895		
管理費計		736,895	
経常費用計			7,128,501
当期正味財産増減額			4,162
前期繰越正味財産額			681,281
次期繰越正味財産額			685,443

2020年度当初予算と決算の比較

			当初予算	決算	増減	備考
収入	（2020年5月総会提出）			（2021年4月理事会報告）		
	受取会費					
		正会員	300,000	300,000	0	法人120,000を含む
		賛助会員	30,000	36,000	6,000	
	受取寄附金					
		個人	0	25,000	25,000	
		法人	0	255,000	255,000	
	助成金					
		WMF財団	2,000,000	2,023,690	23,690	事業は2019年度末に終了
		WMF財団緊急		1,043,780	1,043,780	
		日本財団		1,000,000	1,000,000	
		J-COIN基金		1,815,000	1,815,000	
		お金を回そう基金		99,800	99,800	
	委託費			528,000	528,000	
	払戻金、受け取り利息			6,393	6,393	
合　計			2,330,000	7,132,663	4,802,663	
支出						
	事業費					
		顕彰事業	550,000	1,874,720	1,324,720	
		保存活用事業	180,000	4,128,479	3,948,479	
		広報出版事業	590,000	388,407	△ 201,593	
	一般管理費					
		人件費	600,000	366,000	△ 234,000	
		その他の経費	730,000	370,895	△ 359,105	
			2,650,000	7,128,501	4,478,501	

1 年度初めには、事業助成金は無しでスタートした。

2 7月の人吉地域豪雨災害の支援を始め、災害復興支援事業費補助をＷＭＦと日本財団から受けた。

3 加えて、コロナ対策支援事業に関する助成をＪ－Coin基金から受けた。

4 日本財団とＪ-Coin基金は、コロナ禍のために2021年3月までに事業を終えることができなかったために、事業期間を変更した（事業計画の変更）。

5 そこで、2020年度の決算には上記事業の未払い金を計上し暫定決算書とした。

2021 年度の事業計画と予算の考え方

（１）2021 年度の事業計画

①2021 年度の活動目標

1）＜仮称＞地域遺産ファンクラブの活動

2）ネットワークの促進（遺産ネット部会）

3）会員サービスの促進

個人会員　地域遺産**ファンクラブ**、**例会**の運営で会員サービスの充実をはかる

法人会員　はこれに加えてたとえば「社史」バックアップ事業（未来志向で）などのユニークなサービスが展開できないか。

・・・　財政**交流**部会も連携して

3）**例会**の運営を軌道に乗せる　・・・　好きなこと、楽しいこと、興味のあること

4）行政（熊本県・熊本市）との提携活動

5）事務局の革新（オープン化）　・・・年度内に B スタで試行する

②主要事業

1）地域遺産ファンクラブ運営事業

2）遺産ネット部会・・・地域連携活動

相互乗り入れ団体を増やす

3）市・歴まち計画と＋県・文化財保護大綱の　研究（7 月例会で採用）

4）例会（研究会）の運営

歴まち部会　　テーマ、方向性を定める

（熊本市の歴まち計画のほかのテーマも取り入れる）

人吉の関わり　→　独立した部会とするか正式にタスクフォースと認定する

県・文化財保護大綱の人吉への適用促進も考慮する

（２）2021 年度の予算目論見

①ベーシックな収支を確立する

②予算書

1）2021 年度への繰越金

685,443　　（これは安全弁として残したい）

2）2021 年度会費収入

個人　@5,000　×　60 人＝300,000

法人　@30,000　×30 社＝900,000　　ひとまず、この 120 万円の獲得と予算で乗り切る

3）2021 年度予算の骨格

・管理費（経常経費）：700,000 円　（別紙事務局経費の検討）

・事業費：　750,000 円　→最低限の事業費補助金を獲得する必要がある

合計　1,450,000 円

2021年度（第5期）事業予算案

【収入の部】

項目		金　額	備考
受取会費			
	正会員	250,000	
	賛助会員	50,000	
	法人会員	900,000	3万円×30社
受取寄付金			
	企業		
助成金			
	（未確定）	0	
小計		1,200,000	
前期繰越金			
	負債（借入金）		
	前期残余金	685,443	
今期期末繰越金		435,443	

【支出の部】

定款の事業名	2021（令和3）年度事業		事業費
定款第5条（1）特定非営利活動に係る事業（事業費）			
①歴史文化遺産の顕彰事業			▽予算
	①-1地域間連携事業		
		講師旅費交通費・謝金	100,000
	①-2 アーカイブの作成等		
200,000		資料作成、印刷費等	100,000
②歴史文化遺産の保存・活用を促進するための事業			
	②-1 人吉・熊地域災害復旧支援事業		
		交通費等	100,000
	②-2 新町古町歴史を活かしたまちづくり支援		
		資料代	50,000
	②-3 （仮称）その他の地域		
		資料代、交通費	50,000
	②-4		
		資料代、交通費	0
	②-5		
200,000		資料代、交通費	0
③歴史文化遺産の顕彰・保存・活用に関する広報・出版事業			
	③-1 ホームページ、facebook、twitterの運営		100,000
		一般管理費に含む	
	③-2 広報誌の発行		
		編集印刷製本費	150,000
	③-3 （旧）被連協を中心に新町古町の復興アーカイブの作成		
		調査費、会議費、コピー代	0
	③-4 ドローンを使った画像記録の制作		
			0
	③-5 他都市の交流会等への参加		
250,000			0
④歴史文化遺産を活用した不動産事業			
	2021年度は無し		
⑤歴史文化遺産活用のための物品販売・サービス事業			
	2021年度は無し		
⑥その他当法人の目的を達成するために必要な事業			
100,000	地域遺産ファンクラブ支援		100,000
750,000			
一般管理費			
1）Bスタ使用料			
		水光熱費通信費等含む	500,000
2）事務局人件費			
		前年：366,000	0
3）消耗品費等			
		前年：約130,000	200,000
700,000			
計	1,450,000		1,450,000

年間活動のイメージ				
	地域遺産ファンクラブ			
	▽案（例示）	例会（歴史まちづくり研究）		
		▽案（例示）	遺産ネット部会	
2021年			▽ファンクラブでの訪問先との連携	
4月			（逆に、連携強化の芽があるところを訪問する）	
5月	発会式 福田病院地域交流館	川尻のまちづくり研究（総会イベント）		
6月				
7月		県・文化財大綱研究		
8月	八代武家屋敷			
9月		○　歴まち部会で企画		
10月	木村邸　おかたづけ			
11月		○　歴まち部会で企画		
12月	玉名・伊倉　豪農屋敷			
2022年				
1月		○　歴まち部会で企画		
2月				
3月	小川・長谷川雁生家を訪ねて			

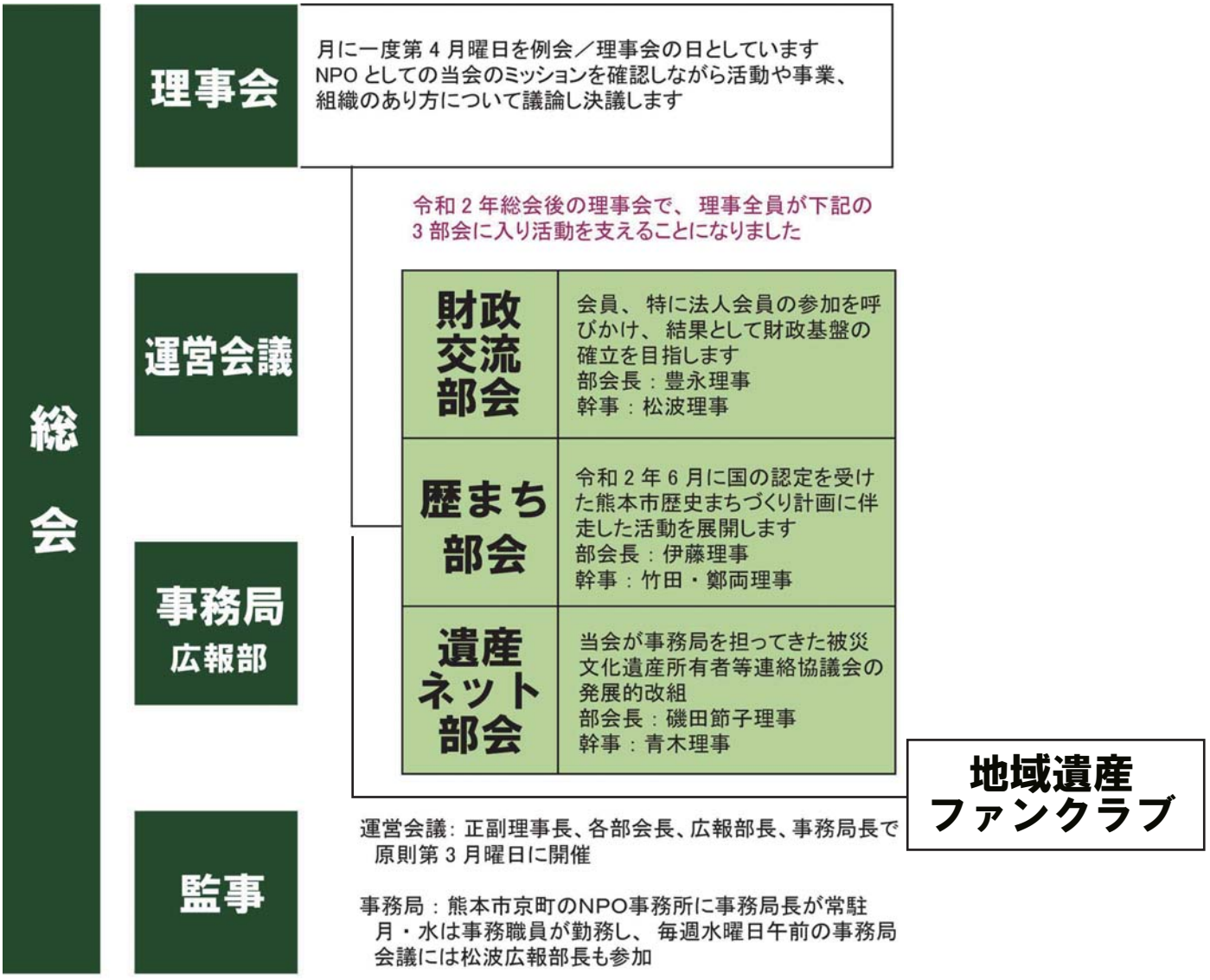

図. ＮＰＯ法人熊本まちなみトラスト

令和２（2020）年度 取組み体制

ＮＰＯ法人熊本まちなみトラスト定款

平成 29 年（2017 年）3 月 26 日制定
令和元年（2019 年）5 月 18 日改定
令和 3 年（2021 年）5 月 22 日改定 予定

第２章　目的及び事業

（事業）

第５条　この法人は、その目的を達成するため、次の事業を行う。

(1)　特定非営利活動に係る事業

①　歴史文化遺産の顕彰事業

②　歴史文化遺産の保存・活用を促進するための事業

③　歴史文化遺産の顕彰・保存・活用に関する広報・出版事業

④　歴史文化遺産を活用した不動産事業

⑤　歴史文化遺産活用のための物品販売・サービス事業

⑥　その他当法人の目的を達成するために必要な事業

⑦　前項の事業の一つとして「地域遺産ファンクラブ」を設置し特別会計を設ける

NPO 法人熊本まちなみトラスト 2021 年総会／交流会

2021（令和３）年５月 22 日（土）
於　川尻公会堂

Program
お掃除と準備（SO-KAI　STAFF）12:30 集合

序章　　13：30−13：45「川尻公会堂復旧工事報告」古川保

◆総会　13：50−14：50
１．開会
２．議事
　第１号議案　2020（令和２）年度事業報告と決算報告
　第２号議案　2021（令和３）年度事業計画と事業予算
　第３号議案　定款の変更
３．意見交換

◆交流会　15：00−16：30　　＝下記テーマや演題は仮＝
テーマ「歴史を活かした川尻のまちづくり」
１．講演：
　1）熊本市都市デザイン課「くまもと歴史まちづくり計画」（20 分）※1
　2）熊本市文化財課「国史跡 熊本藩川尻米蔵跡の改修と活用策」（20 分）※2

２．トークセッション（60 分）　　・・・別紙（もう少し詳しい企画書）
　熊本のまちづくりのモデルとして川尻を学ぶ
　パネリスト：古川保さん、村田幸博さん、栗崎剛さん・・・　＋熊本市
　コーディネーター：冨士川
※趣旨
　①次世代に語り継ぐべき「川尻のまちづくりの経緯」を振り返る（長期）
　②これからのまちづくりの長期的展望
　③今現在の活動、事業（寺フェス、春祭り、わっしょい・・・）の紹介と課題・対応策

◆まち歩き　16：45〜18：00
　　国史跡 熊本藩川尻米蔵跡　等

★コロナ禍のための中止や延期になることもありえますが、その都度変更案内します